

各 位

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル  
 代表取締役社長 鈴木 健史  
 (コード番号 9695)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 四野宮 章  
 (TEL 03-3633-3715)

## 特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)において特別損失を計上するとともに、平成22年5月14日付「平成23年3月期決算短信(非連結)」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,050	80	30	△40	△3.83
今回発表予想(B)	1,968	40	22	△14	△1.39
増減額(B-A)	△82	△40	△8	26	
増減率(%)	△4.0	△50.0	△26.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,126	47	4	△0	△0.06

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,790	15	△85	△170	△16.29
今回発表予想(B)	3,700	15	△50	△110	△10.54
増減額(B-A)	△90	0	35	60	
増減率(%)	△2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,914	△56	△136	△455	△43.60

#### 1. 特別損失の発生及びその主な内容

適格退職年金制度が平成24年3月に廃止となる為、退職給付制度のうち適格退職年金制度に係る部分について、平成22年9月1日に確定拠出年金制度へ移行したことから、退職給付制度改定損31百万を特別損失に計上する見込みです。

#### 修正の理由

##### 1. 平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正の理由

##### (1) 第2四半期累計期間業績予想について

当社の主力事業であるホテル関連のうち、リゾートホテルは景気の先行き不安や雇用情勢の不安等により、法人・個人需要とも苦戦を強いられ、また、競争激化による宿泊単価の低下等も重なり厳しい環境にありました。一方、ビジネスホテルは法人需要が持ち直しつつあり、回復の兆しがみえてまいりました。

このような状況の中、営業収益は、前回予想額から82百万円減少の1,968百万円を見込んでおります。

収益につきましては、厳しい環境下、徹底した人件費・経費の削減に取り組みましたが、減収要因の影響大きく、営業利益は前回予想額より40百万円減少の40百万円、経常利益は前回予想額より8百万円減少の22百万円、四半期純損失は退職給付制度の改定に伴う特別損失が見込額より縮小し、前回予想額より26百万円改善し14百万円の見込みであります。

##### (2) 通期の業績見通し

景気の不安定な状況が続く中、営業収益につきましてはほぼ当初予想額で推移する見込であります。

収益につきましては、引続き人件費・経費の圧縮に取り組んでまいりますが、営業利益は前回予想額と同様15百万円、経常利益は前回予想額より35百万円改善し50百万円、当期純損失は前回予想額より60百万円改善し110百万円を見込んでおります。

以上